

i-Construction
推進コンソーシアム
企画委員会

2020年8月4日

FUJITSU

shaping tomorrow with you

資料 3

i-Constructionの取組
に関する情報提供

株式会社富士通研究所
エグゼクティブフェロー

森田 俊彦

1. 私たちは変わり続ける

街から人が消えた、予想だにできなかった現実
世の中は自分たちが思っている以上に変化し続けている

アフターコロナの働き方 富士通「在宅」基本に

- ネットワーク回線の増強
- 複数のWeb会議システムを利用可
- セキュリティ機能の強化
- 電子決裁／電子契約等の業務改革

定期代の支給廃止

対象は、国内の富士通グループで働く約8万人（製造現場を除く）。テレワークと出張で代替できる場合は、単身赴任をやめて、家族と同居できるようになる。
勤務時間を柔軟に選べるフレックス勤務制度では、出勤が必要となる「コアタイム（中心時間帯）」を全社員で原則なくす。

富士通は6日、在宅勤務でのテレワークを、新型コロナウイルスの収束後も基本的な働き方にすると発表した。通勤定期代の支給をやめて実費精算とする一方で、在宅勤務にかかる通信料や光熱費、機器などを買いそろえる費用として、7月から月5000円を補助する。

2020.7.7 読売新聞

【コロナ前】

テレワーク者
数：8,000人



【コロナ後】

テレワーク者
数：60,000人

※オフィス面積：120万㎡ ⇒ 60万㎡（2023年目途）



Work Life Shift

多様な観点から新しい働き方を支援

Smart Working (最適な働き方の実現)

- ・ 勤務制度 (コアタイムの撤廃など)
- ・ 手当、福利厚生 (単身赴任の解消など)
- ・ IT環境 (スマートフォンの徹底活用など)

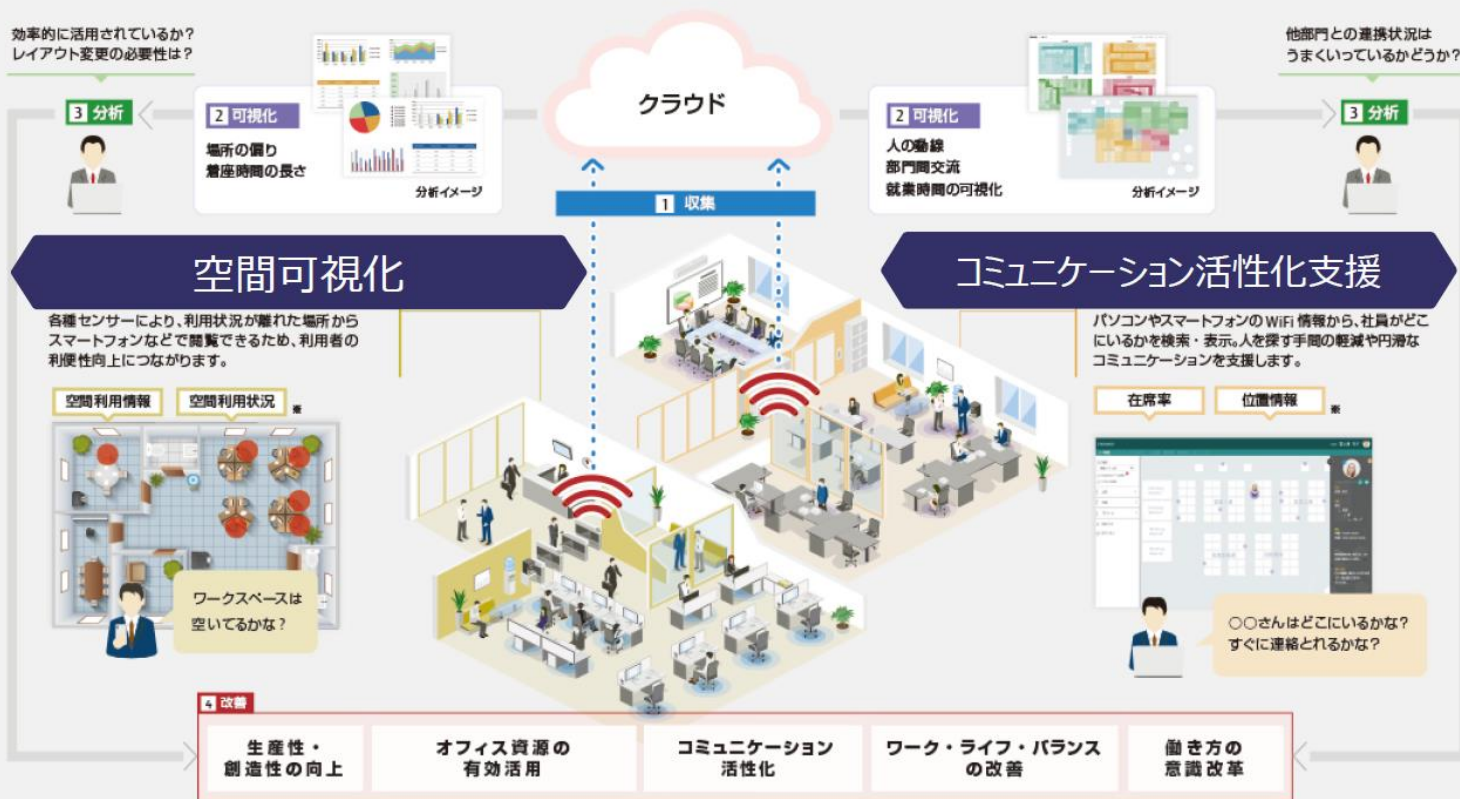
Borderless Office (オフィスのあり方の見直し)

- ・ ハブオフィス、サテライトオフィス
- ・ ホーム&シェアドオフィス

Culture Change (社内カルチャーの変革)

- ・ セルフサービス化、就業状況の可視化
- ・ 1on1ミーティング
- ・ 健康パルスチェック、ストレス診断

ロケーションプラットフォーム「EXBOARD for Office」の活用



建設・土木分野でも働き方変革を（5G活用）

- 低遅延性・大容量性をもつ5Gの登場により現場の遠隔化が可能になる

低遅延性の活用

重機の遠隔操作

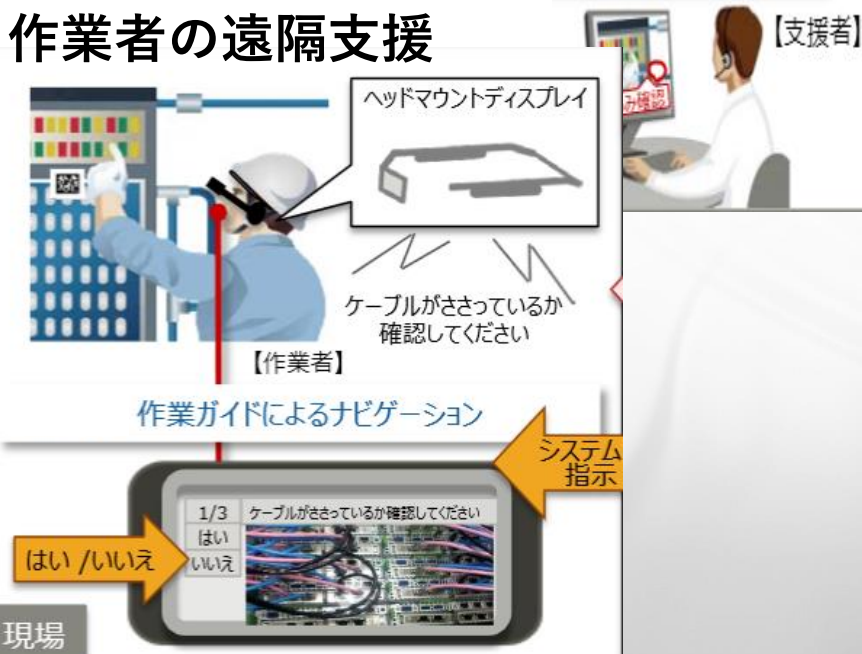


自動ブルドーザによるまき出し状況

鹿島建設 HP (A⁴CSEL:クワッドアクセラ より)
https://www.kajima.co.jp/tech/c_ict/automation/index.html#body_01

大容量性の活用（4K映像）

作業者の遠隔支援



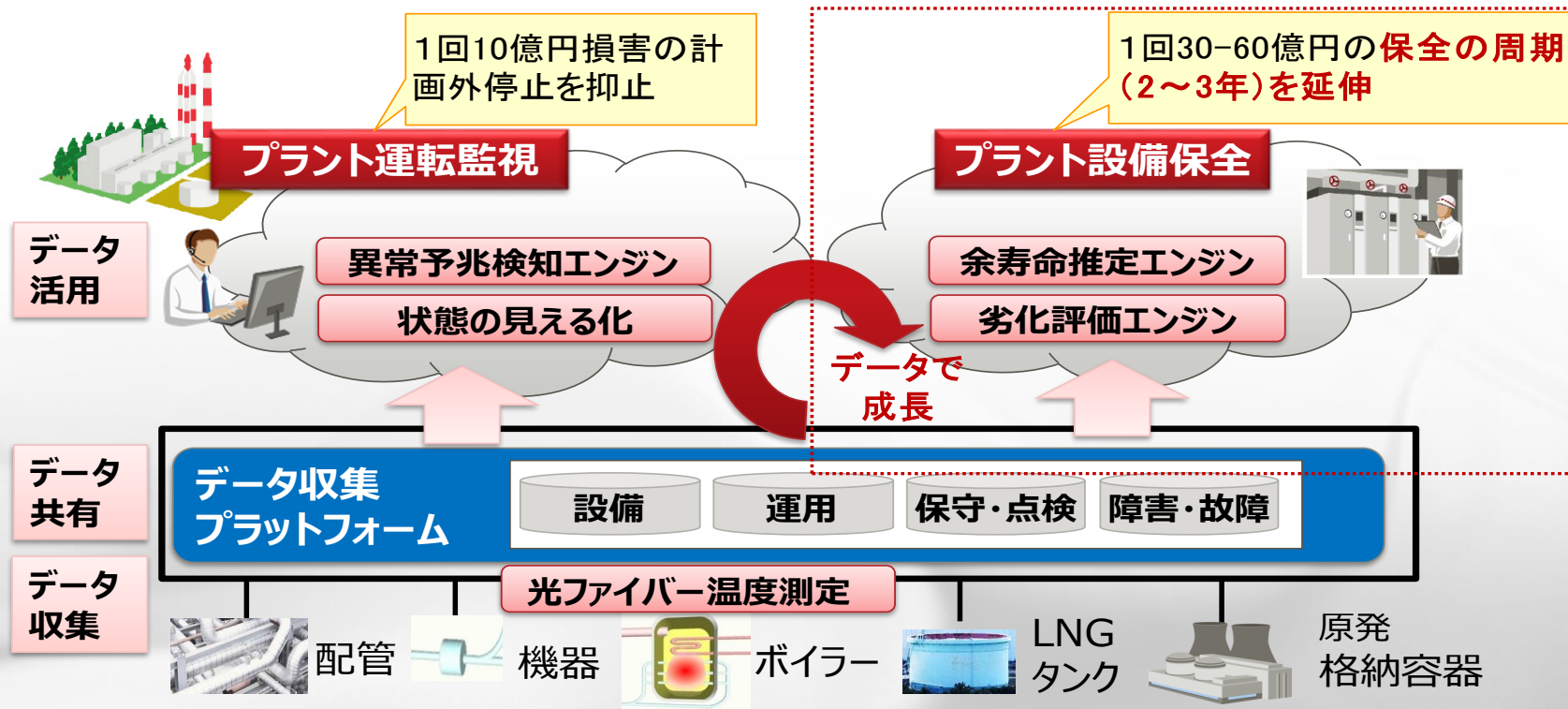
2. データに基づいて全体を最適化する

データが無ければ、何が起きているかが分からない

何が起きているかが分からなければ、意思決定できない

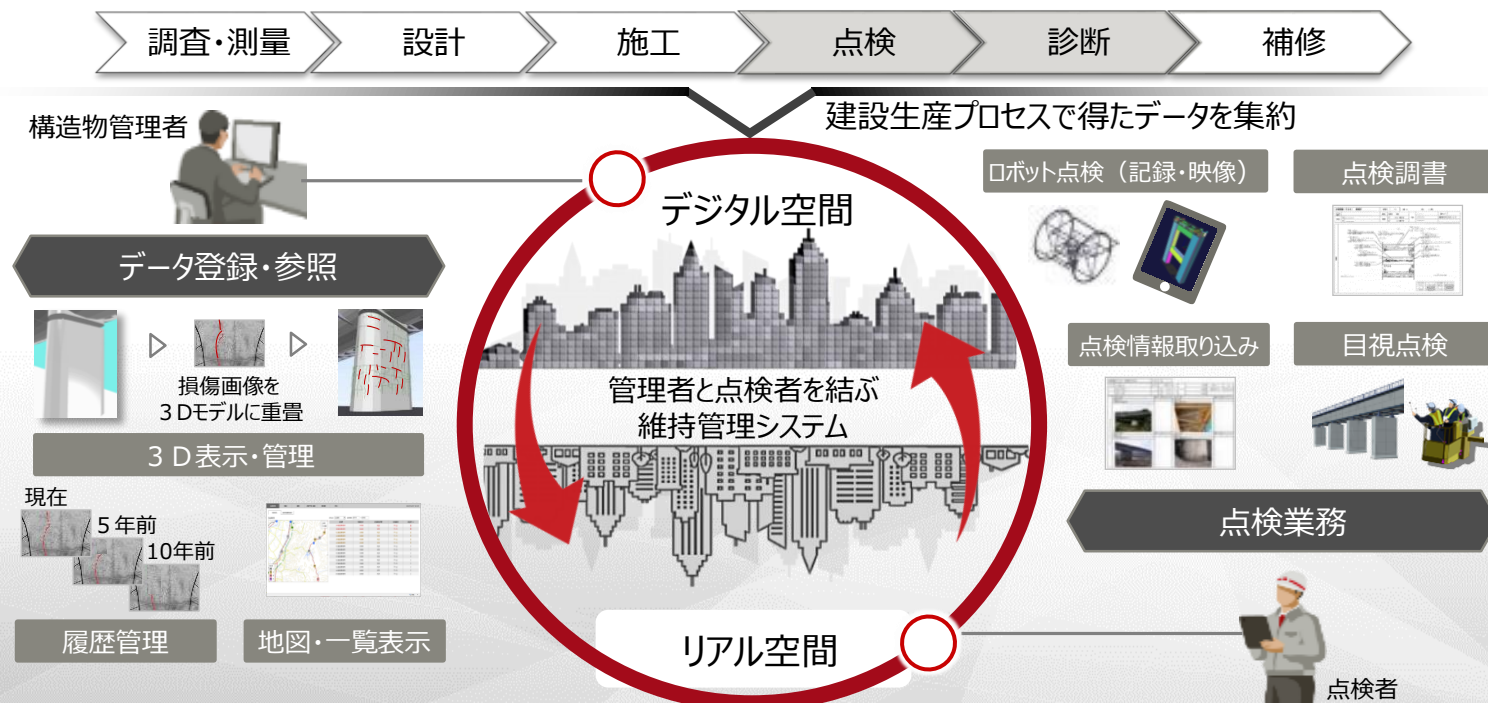
発電プラントでのデータ活用

- 機器の内部状態をセンサでデータ化し、運転監視はもとより、保全計画にも活用



社会インフラでのデータ活用

- 社会インフラ構造物の点検プロセスで得られたデータを集約してデジタルで管理・可視化・解析し、**現場の生産性向上だけでなく、補修・保全計画まで最適化**



社会実装トライアル2019（鳥取県*）

■ 点検業者から管理者まで通して実証、措置保全計画の最適化に繋がるか、普段使いの視点で評価

管理者 県庁



管理事務所



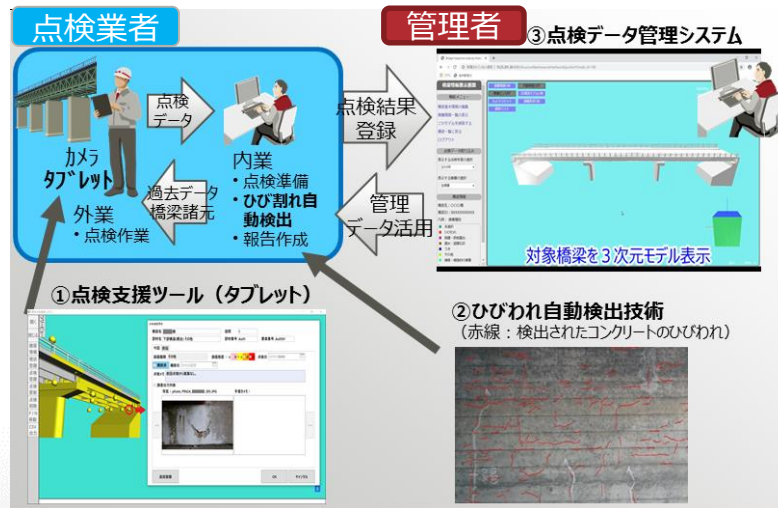
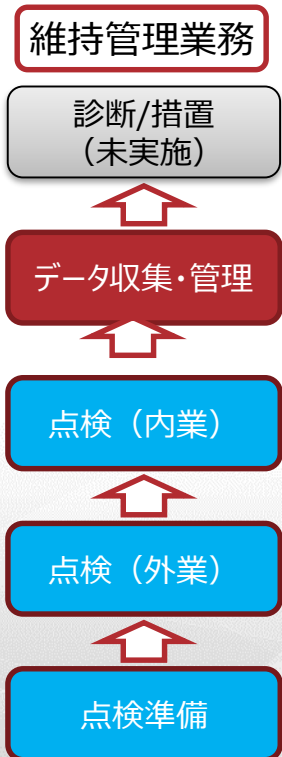
市街地

山間部【支社】

点検業者



*ご協力：管理者：鳥取県様 他
点検業者：(株)ヨナゴ技研コンサルタント様 他



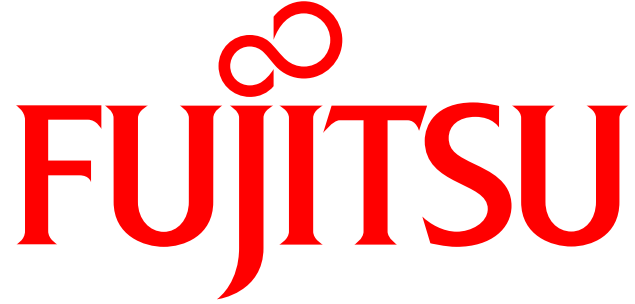
富士通のパーパス



わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです



* 2020年5月 富士通経営方針説明より



shaping tomorrow with you